

## エリアコンセプト・文化センターの整備方針

---

# 1. 対象エリアの設定

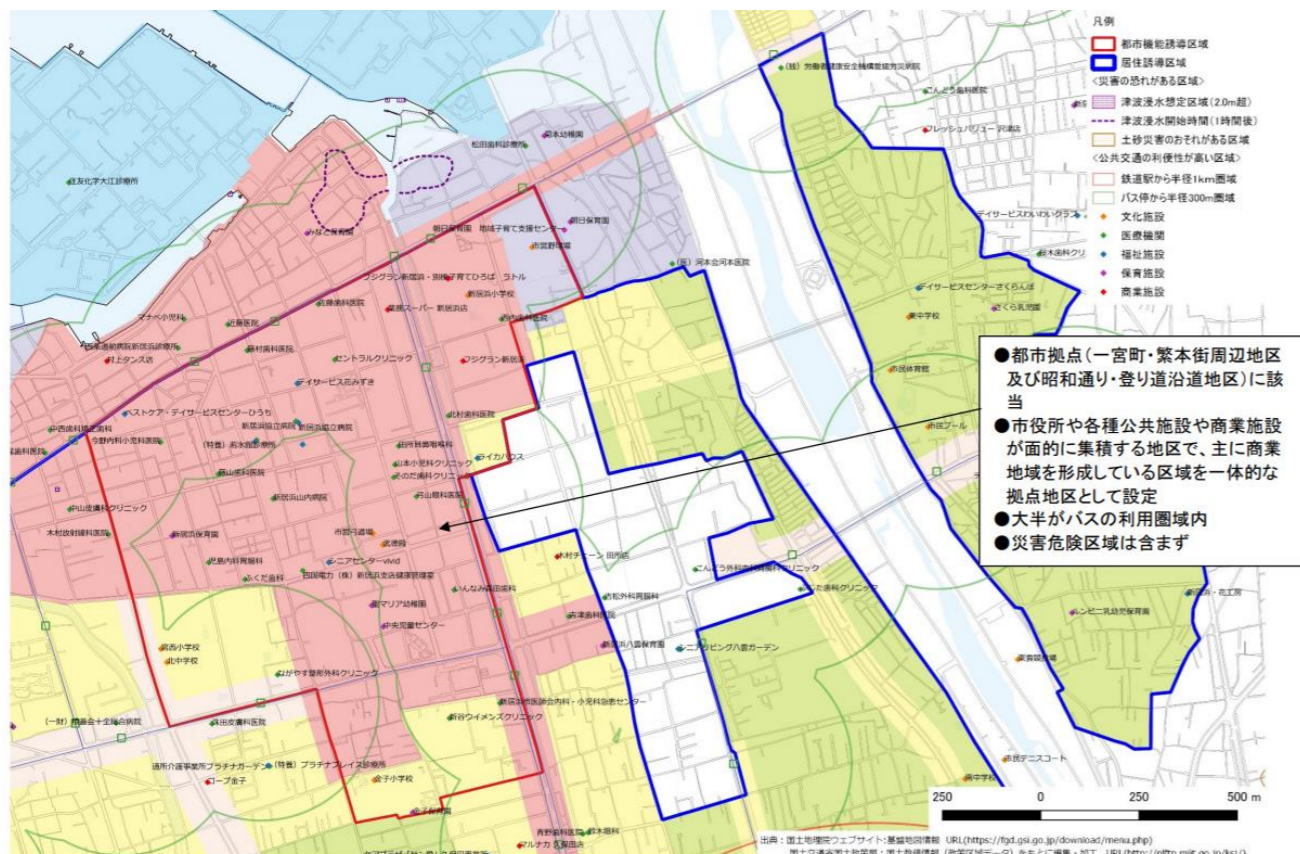
## 1. まちづくり関連計画における位置付け

- ✓ 文化センターの立地するエリアは、『**新居浜市都市計画マスタープラン**』において、「**都市拠点**」に含まれ、また、『**新居浜市立地適正化計画**』においては、「**都市機能誘導区域**」に指定されています。
- ✓ 特に、「**子育て層**」等も含めた市民にとって魅力あるエリアとすることが求められています。

	新居浜市都市計画マスタープラン	新居浜市立地適正化計画
文化センター周辺エリアの位置付け	<b>都市拠点</b> ：まち全体の都市機能の充実や広域的な集客強化に資する拠点地区として、今後も商業・業務・文化等の都市機能の充実・強化を図る	<b>都市機能誘導区域</b> ：医療・福祉・商業等の都市機能を都市の拠点で維持・確保することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域
文化センター周辺エリアに関する主な記載	一宮町・繁本町周辺地区は、 <b>行政・文化施設が集積する公共施設の集積や既存の公園、歴史文化資源を生かし、子育て層も含むまちなか居住を促進する拠点</b> として、魅力ある拠点地区の環境形成を進めるとともに、既存官公庁施設の改修・再生を行い、 <b>行政・文化・防災機能の強化を推進</b> します。	<b>公共施設の集積を生かし、子育て層も含むまちなか居住を促進する拠点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存公共施設の有効活用により、新居浜市のシビックゾーンとしての機能を強化し、<b>新居浜全市民の安心できる生活を支える方向</b>が望まれる。</li> <li>• 特に、公共施設再編と連携した具体的な取組の方向としては、まちなかの小中学校の再編が望まれるとともに、それと併せた公民館や児童センター等の複合化が望まれることから、小中一貫教育等の教育環境の充実や、子育て支援環境の充実等により、<b>子育て層も含めて、まちなか居住を促進していく先導的なモデル環境づくり</b>が有効である。</li> </ul>

## 2. 都市機能誘導区域の範囲

- ✓ 比較的広範囲なエリア（117ha）が都市機能誘導区域に設定されています。



## 3. 対象エリアの設定

- ✓ 文化センターを含む都市機能誘導区域に関しては、面積が広く、また、北側と区域内において公共施設が集積している南側とでは性格が異なります。
- ✓ そのため、文化センター周辺のあり方について検討する場合には、**エリアを一定程度絞り込む**ことが必要となります。
- ✓ 下記の考え方のもと、コンセプト検討の対象となる**エリアを設定**しました。

### 【エリア設定の考え方】

- 文化センター敷地を含む都市機能誘導区域をベースとする。
  - 南側のラインに関しては、都市機能誘導区域を基本に、一部福祉施設及び社員寮、スーパー予定地を含める。東西に関しても、都市機能誘導区域の設定を参考としながら、東側は楠中央通り、西側は金子山通りまでとする。
  - 北側に関しては、公共施設（武徳殿、文化振興会館等）や連携が想定される民間施設（銀行等）の集積状況、また、文化センターとの距離等を踏まえながらラインを設定する。
- 上記を踏まえ、文化センターを含む約59ha（下記参照）を対象エリアとして設定する。



## 2. コンセプト・整備方針の検討方針

✓ 各種調査を踏まえ、エリアのコンセプト、文化センターの整備方針に関連する事項を整理しました。エリアにおける主なターゲットとなる層を設定し、コンセプト、整備方針の検討を行いました。

### 上位・関連計画の位置付け

#### まちづくり

- 都市拠点  
子育て層も含むまちなか居住を促進する拠点
- 都市機能誘導  
シビックゾーンとしての機能を強化し、新居浜全市民の安心できる生活を支える  
子育て層も含めて、まちなか居住を促進していく先導的なモデル環境づくり

#### 文化

- 文化芸術の香りを未来に伝えるまちづくり  
子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまちづくり  
文化を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち  
身近に自然・歴史が感じられ、ふるさとに誇りをもてるまち  
伝統ある文化が継承され、市民が大切にしているまち

#### 公共施設再編整備

- まちづくりと連携した公共施設の適正配置
- 施設保有量の適正化 など

### 敷地周辺の特徴・ポテンシャル

#### エリア分析

- 一宮・繁本町・昭和通り周辺地区  
人口や事業所数が多く、エリアデザイン等を通じて、にぎわいを創出しやすい環境

#### 他市比較

- 今治市市民会館 周辺に施設が集積しポテンシャルはあるものの、街区をまたいだ連携や街の回遊性の魅力は乏しい状況
- 西条市総合文化会館 学校や幹線道路からの距離、駐車場の少なさなどから、日常的なエリアの魅力の創出まではつなげていない
- しこちゅ〜ホール 市街地から独立した郊外型施設・コンパクトな単機能・目的型施設

#### 敷地条件

- 公共施設や企業、保育園・学校等が集積 / 日常的に人が活動するエリアに立地
- 一宮神社・中央公園といった、市街地に貴重な緑のオープンスペースが近接・隣接
- ホールでの非日常体験と日常活動が両立

### 市民・庁内検討委員会の意見

#### 立地

- まちの中心部にあり、バス停が近くにあるなど、**利便性が高い**

#### 施設の位置付け

- 市内類似施設、近隣市ホールとの役割分担・差別化、独自性の確保、市内施設との連携
- 多彩な分野の利用を図る
- 地域・市民に開かれた施設
- 次世代の育成につながる施設
- 市民の文化発表の場
- 日々の各団体・個人の取組みの発信拠点
- 防災機能を備えた施設
- 住友企業との連携 など

#### 施設全体方針

- 多機能化 / 単機能化
- 公園も含めた一体開発・エリアデザイン
- UD・バリアフリー

### 市民等の意向調査結果

#### 大ホールの規模

- 【市民】現在と同じ程度(46%) / 1,300席程度(27%) / 1,500席以上(18%) …
- 【モニター】現在と同じ程度(43%) / 1,500席以上(25%) / 1,300席程度(23%) …
- 【団体】現在と同じ程度(51%) / 1,300席程度(37.1%) / 1,500席以上(8.1%) …

#### 駐車場の規模

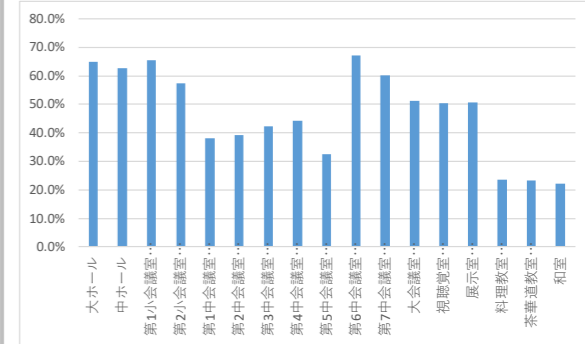
- 【市民】300台以上(32%) / 200台以上(24%) / 現在と同じ程度(15%) …
- 【モニター】200台以上(28%) / 300台以上(25%) / 500台以上(21%) …
- 【団体】300台以上(48%) / 200台以上(24%) / 400台以上(21%) …

#### 観たい(聴きたい)演目

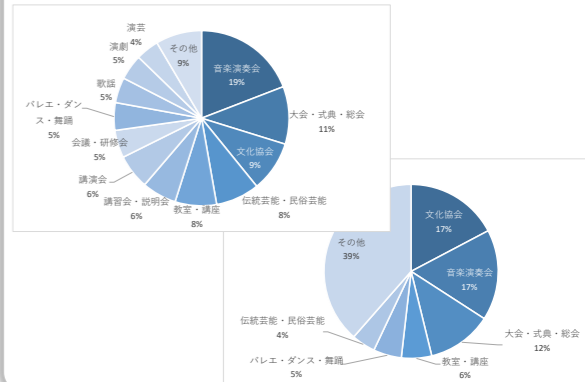
- 【市民】ポップス・ロック(59%) / オーケストラ・吹奏楽(57%) / 演劇・ミュージカル(52%) …
- 【モニター】オーケストラ・吹奏楽(58%) / ポップス・ロック(57%) / 演劇・ミュージカル(53%) …
- 【団体】オーケストラ・吹奏楽(61%) / 演劇・ミュージカル(58%) / 歌舞伎・狂言・能(44%) …

### 市民文化センターの利用状況

#### 稼働率



#### 利用目的



#### Keyword

- ✓ 子育て層
- ✓ まちなか居住
- ✓ 安心
- ✓ 先導的モデル
- ✓ 子ども
- ✓ 鑑賞・活動
- ✓ 身近に自然
- ✓ まちづくりと連携

#### Keyword

- ✓ 人口・事業所の集積
- ✓ 教育施設が集積
- ✓ 日常的に人が往来
- ✓ 多様な活動
- ✓ 緑のオープンスペース
- ✓ 日常&非日常

#### Keyword

- ✓ 近隣公共施設との役割分担・連携
- ✓ 開かれた施設
- ✓ 次世代の育成
- ✓ 発表・発信の場
- ✓ 防災機能
- ✓ 多機能/単機能
- ✓ UD・バリアフリー

#### Keyword

- ✓ 大ホール1,300席以上を望む声が約半数
- ✓ 駐車場300台以上を希望する声が半数超
- ✓ 演目 ポップス・ロック / オーケストラ・吹奏楽 / 演劇・ミュージカルの公演を望む声が半数超

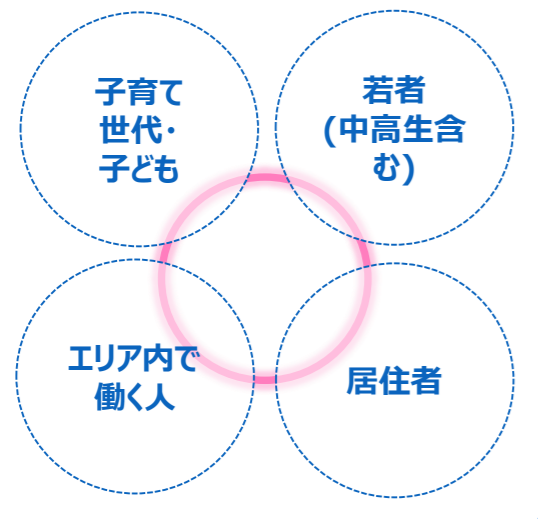
#### Keyword

- ✓ 多様な活動の受け皿施設
- ✓ 高いホール稼働率、会議室等を多数備えている強み
- ✓ 貸館中心の利用形態

### エリアに関連する事項

### 文化センターに関連する事項

ターゲットとなる層



✓各ターゲット層にとってより魅力的なエリアとすることをとおして、望ましいまちの姿の実現をはかる

エリアのコンセプト

✓文化センターの整備をとおして、コンセプトの実現に寄与する

文化センターの整備方針

その他の検討事項

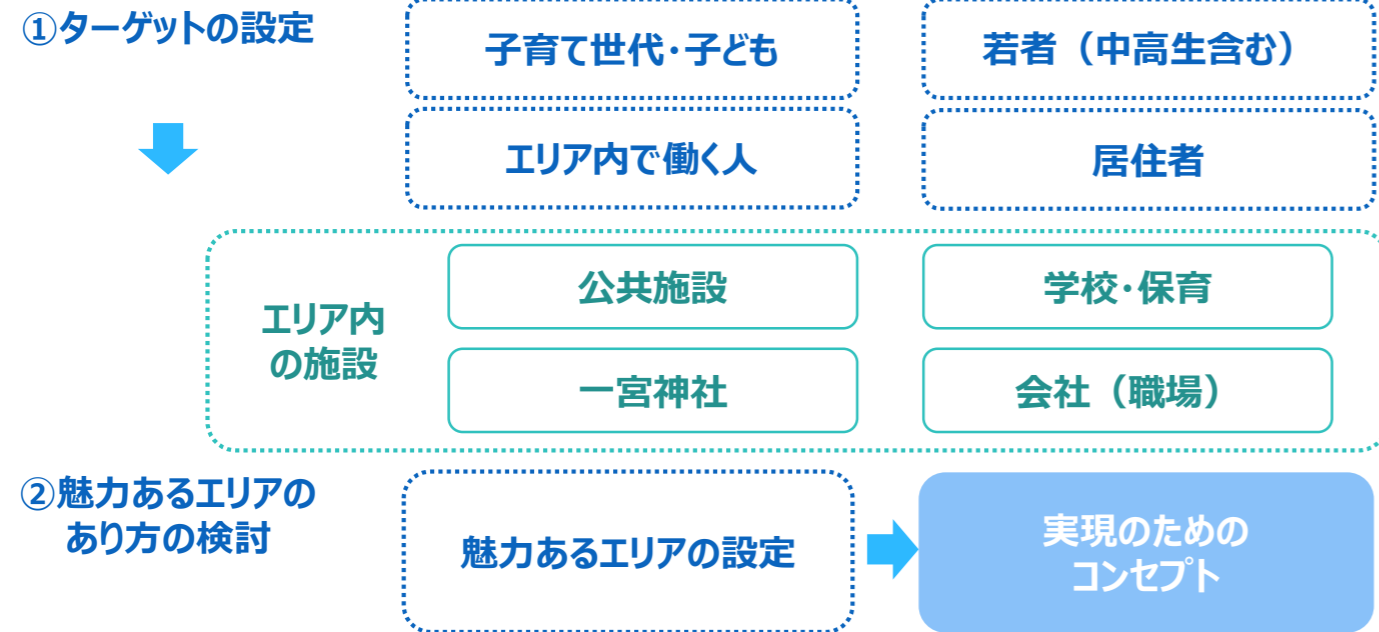
どのようなエリアであるべきか？

どのような文化センターであるべきか？

### 3. エリアコンセプト（案）

#### 1. 検討の流れ

- ✓ 各ターゲット層にとって魅力あるエリアとすることをとおして、望ましいまちの姿を実現することを目指します。
- ✓ 上位計画やエリアの現状、ターゲット層等を踏まえ、望ましいまちの姿を設定するとともに、魅力あるエリアの創出に向けたコンセプトの策定を行います。



#### 2. ターゲットごとに考えられる魅力あるエリア

##### 子育て世代・子ども

- ✓ 子どもが**安心・安全に遊べる**、様々な**文化や活動に触れられる機会**がある
- ✓ 子育て世代間や地域との**交流が図りやすい**（孤立しない）、**日常的に憩える場所**がたくさんある

##### 若者（中高生含む）

- ✓ 勉強や課外活動など、**様々な活動を主体的に行える場所**がある
- ✓ 学校、家庭以外での居場所（**サードプレイス**）がある
- ✓ 様々なと**交流ができる場**、**新しい価値に触れられる場所**がある
- ✓ 地域の**シンボルとなる、自慢できる場所**がある

##### エリア内で働く人

- ✓ 休憩時間や行き／帰りに立ち寄りたくなる**魅力的な場所**がある
- ✓ 働くだけでなく、エリア内で**様々な時間を過ごせる機会**がある（食べる、読書・勉強をする、文化・スポーツ等の活動をする、地域との交流に参加する 等）

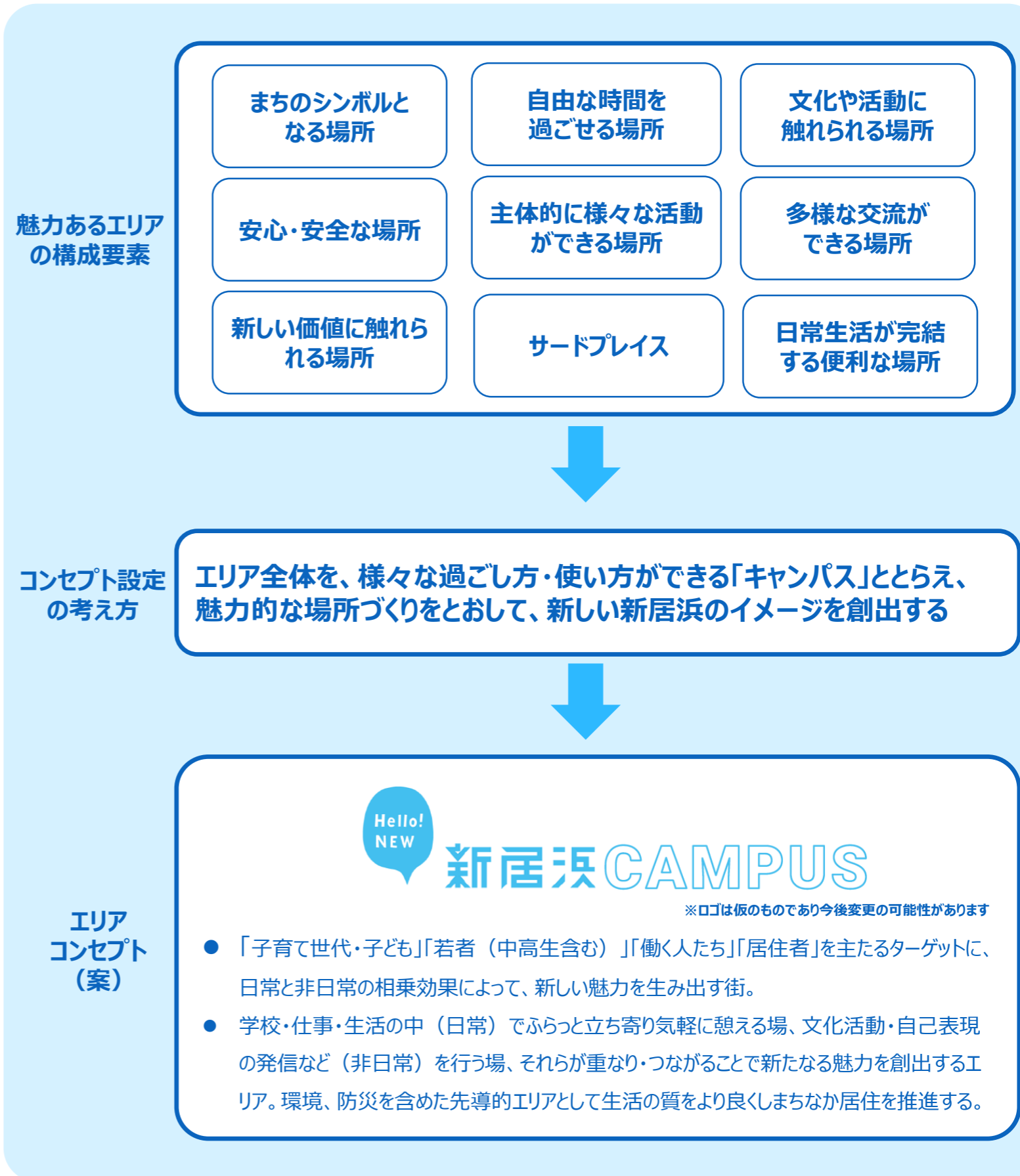
##### 居住者

- ✓ 都市機能がそろっており、日常生活が完結する（**15分都市**※）
- ✓ **日常生活を豊かに**するような**魅力的な場所**がたくさんある

※自宅から徒歩、自転車、または公共交通機関で行ける範囲に生活に必要な都市機能がそろっているまち

#### 3. コンセプト（案）

- ✓ 魅力あるエリアの構成要素を抽出し、それを**実現するためのコンセプト**（案）について検討しました。



## 4. 文化センターの整備方針（案）

### 1. コンセプトの実現のための文化センター整備の方向性

✓コンセプト実現に寄与するために、エリアの中心施設としての文化センターに関しては、以下のような整備の方向性が考えられます。

方向性1	ホールを使う人だけでなく、子育て世代をはじめすべての市民が日常的に利用し、 <b>おもいおもいの時間を過ごせる場所</b> とする
方向性2	子どもや若者が日常的に、または様々な活動を通して <b>何かに出会える場所</b> とする
方向性3	家・職場・学校等以外に、 <b>多様な活動・交流を生む場所</b> とする
方向性4	新居浜の未来をつくる、 <b>まちのシンボル、まちづくりを先導する場所</b> とする
方向性5	<b>バリアフリーやユニバーサルデザイン、環境に配慮するとともに、市民の安心・安全を支える場所</b> とする

### 2. 市民等の意向調査結果・市民文化センターの利用状況を踏まえた方向性

✓市民意見、利用状況等を踏まえて、ホールの機能、規模等を検討していく必要があります。

Keyword	Keyword
✓ 大ホール1,300席以上を望む声が約半数	✓ 多様な活動の受け皿施設
✓ 駐車場300台以上を希望する声が半数超	✓ 高いホール稼働率、会議室等を多数備えている強み
✓ 演目 ポップス・ロック / オーケストラ・吹奏楽 / 演劇・ミュージカルの公演を望む声が半数超	✓ 貸館中心の利用形態

方向性6	市民の様々な活動を支える拠点、多目的ホールとしての機能を引き続き果たす
方向性7	公共ホールとしての <b>規模・機能の強化</b> をととし、より魅力のある施設として整備することで、 <b>質の高い芸術や興行の誘致</b> を可能とする
方向性8	近隣他市の施設にはない現施設の強みを活かすため、引き続き <b>会議室等を一定数整備</b> する
方向性9	貸館だけでなく、 <b>自ら企画し、新しい文化を発信する拠点</b> としても機能する

### 3. 公共施設の複合化を踏まえた方向性

✓文化センターについては、中央公園のほか、生涯学習センター、児童センター等との複合化が想定されており、これらの施設との連携が必要となります。

方向性10	<b>中央公園と一体</b> となった憩い、交流の場を創出する
方向性11	その他 <b>生涯学習施設</b> 等と連携した活動の場を提供する

### 4. 周辺施設・文化芸術団体との関係性を踏まえた方向性

✓その他周辺施設等や文化芸術団体との関係性の中での施設のあり方を検討していく必要があります。

方向性12	一宮神社等と連動した、 <b>中心市街地における緑の拠点</b> としての機能を果たしていく
方向性13	<b>学校や企業との連携のハブ</b> になる施設・機能を果たしていく
方向性14	あかがねミュージアムやワクリエ、文化振興会館、ウィメンズプラザ等の他施設との <b>適切な役割分担・連携</b> を図る
方向性15	引き続き、新居浜文化協会をはじめとする <b>文化芸術団体と連携</b> を図りながら、文化の振興を図る

### 5. 文化センターの整備方針（案）

✓1～4で整理した方向性を踏まえ、文化センターの整備方針を整理しました。

#### 方針1：市民の多様な活動を支える拠点

方向性1、2、3、6、8、11

- ホールを中心とした複合施設として、文化活動を中心に、様々な市民ニーズに対応する
- 日常においても、おもいおもいの時間を過ごせる場所、サードプレイスとして機能する

#### 方針2：市民が利用しやすく、質の高い文化・芸術に気軽に触れることができる拠点

方向性7、9

- 市の文化振興の中心施設として、市民が質の高い芸術に触れられる機会を提供する
- 新しい文化の発信を積極的に行う文化創造の拠点としても機能する

#### 方針3：まちに開かれた交流と連携の拠点

方向性1、2、3、10、13、14、15

- 中央公園との一体性等の特徴を生かし、まちに開かれた施設とすることにより、日常的に様々な人を呼び込む
- 子育て世代をはじめとした多様な世代が集える拠点、学校、企業等様々な主体が連携できる拠点とする
- 他の公共施設との適切な役割分担・連携を図る

#### 方針4：エリアの魅力づくり・まちづくりを先導する拠点

方向性4、5、12

- 新居浜の未来をつくるまちのシンボルとして、エリアの魅力向上に寄与する
- バリアフリーやユニバーサルデザイン、環境等の面で、まちづくりを先導する施設とする